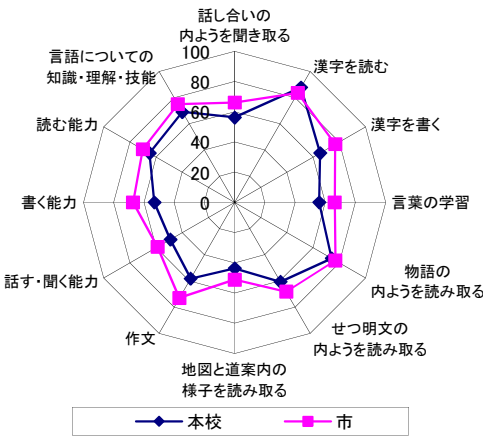


宇都宮市立新田小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	56.2	66.1
	漢字を読む	87.7	83.5
	漢字を書く	65.3	76.9
	言葉の学習	56.0	66.2
	物語の内ようを読み取る	74.3	77.0
	せつ明文の内ようを読み取る	60.7	68.3
	地図と道案内の様子を読み取る	43.7	51.2
	作文	58.2	73.1
観点別	話す・聞く能力	49.1	58.9
	書く能力	53.1	67.2
	読む能力	65.0	70.2
	言語についての知識・理解・技能	69.1	75.1



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	・宇都宮市の平均正答率と比べると正答率が約10%下回っている。話し方の工夫の共通点に気を付け聞くことができるは、3%とあまり差はないものの、「話の中心に気を付けて聞くことができる」、「話し手の考えの共通点を聞き取り話すことができる」が共に市の正答率よりも13%低い。	・授業だけでなく、日常で話を聞く場面などで、話している事柄の順序等、話の組み立て方を意識しながら聞いたり、聞いた内容を再現させるような活動を多く取り入れるようにする。 ・小グループでの話し合いの場を多く設定し、相手の話すことを正しく聞き取りながら話し合えるようにする。
漢字	・宇都宮市の平均正答率と比べると読むことについての正答率は4%上回っているが、書くことについて市の正答率に比べ下回っている。	・朝の学習や宿題等で毎日学習することにより定着を図る。 ・引き続き、小テストやドリルなどを活用して繰り返し学習に取り組むことで、更に定着を図る。 ・自主学習で日記や漢字・熟語集めをメニューに取り入れ、漢字を活用する機会を多くする。
言葉の学習	・宇都宮市の平均正答率と比べると正答率が10%下回っている。特に、故事成語の使い方や漢字辞典の使い方については、10%以上下回っている。	・ことわざの意味を知るだけでなく、似ている意味のことわざを見つけたり、文中ではどのように使うかなどを調べたりすることで、定着を図る。 ・辞典を活用する機会を多く作り、使い方を定着させる。
物語の内ようを読み取る	・宇都宮市の平均正答率と比べると、気持ちの変化の読み取りは、5%上回っているが、登場人物の気持ちを読み取ることについては、10%以上下回っている。	・文章中の接続詞や段落と段落とのつながりに着目させることで、どこで場面が変わっていくのか考えられるようにする。 ・登場人物の様子や気持ちを考えさせるために、根拠となる言葉を(会話・前後の文章など)を見つけさせるなど、場面ごとの読み取りを着実にしていく。
せつ明文の内ようを読み取る	・宇都宮市と比べると正答率が8%下回っている。設問別では、文章の要点の読み取りが15%下回っているが、段落の要点は正答率が市とほぼ同じである。	・日頃からの音読を続けさせたり朝の読書にしっかり取り組ませることで、読む力を養えるようにする。また、文章を繰り返し読むようにすることで、内容の把握ができるようにする。 ・文章を読む際、接続詞や指示語などを意識させ、文と文とのつながりや、対応する言葉などを確認する活動を取り入れるようにする。
地図と道案内の様子を読み取る	・宇都宮市の平均正答率と比べると、地図を正しく読み取ることで正答率が6%下回っているが、読み取ったことを言葉で表すことでは、10%下回っている。	・会話科の授業も活用し、道案内や必要なことを相手に適切に伝える活動を多く取り入れる。
作文	・宇都宮市の平均正答率と比べると正答率が約15%下回っている。量や段落については、条件に沿って書くことができるが、書くこととする理由や中心をはっきりさせて書くことは約21%下回っている。	・日頃から、自分の考えを文章に表す機会を設け、自分の考えを順序良く伝えられるようにする。